



2019年10月30日

各位

会社名 株式会社ヤマタネ
代表者名 代表取締役社長 山崎 元裕
(コード：9305、東証第1部)
問合せ先 管理本部経理部長 溝口 健二
(TEL. 03-3820-1111)

第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,990	1,670	1,410	770	72.47
今回修正予想(B)	27,693	1,923	1,674	1,094	103.50
増減額(B-A)	703	253	264	324	—
増減率(%)	2.6	15.1	18.7	42.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期(累計))	27,394	3,350	3,190	1,812	170.54

2. 修正の理由

当第2四半期連結業績予想につきましては、物流部門における主要顧客の取扱いが高水準に推移したこと、食品部門における玄米販売数量が計画を上回ったことや精米販売における製造コストの削減に努めたこと等から、売上高、営業利益及び経常利益は業績予想を上回る見込みであります。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業面での増益に加え、計画外での投資有価証券売却益の計上や不動産部門において当第2四半期会計期間に見込んでいた再開発に伴う解体工事に係る固定資産除却損の計上が第4四半期会計期間となる見込みとなったため業績予想を上回る見込みであります。

なお、2020年3月期通期連結業績予想につきましては、配送コスト等全般的なコスト増加懸念に加え、物流部門での拠点新設に伴う初期コストの発生や食品部門における2019年産米の動向、また固定資産除却損の計上時期の変更もあり、業績予想を据え置くことといたしました。

以上